

上下水道局環境計画(2017～2021)に基づく令和元(2019)年度取組結果

上下水道事業は、自然の中における水循環の一部を有効に利用・維持することで成り立っています。

しかし、この事業活動の過程においては、電力などの多くの資源・エネルギーを使用するとともに、汚泥などの多くの廃棄物を排出します。

このことから、上下水道局では環境施策を総合的かつ計画的に推進するため、上位計画である「川崎市上下水道事業中期計画」の策定に合わせ、平成29(2017)年度から平成33(2021)年度までを計画期間とする「川崎市上下水道局環境計画2017～2021」を策定しました。今回は本計画に基づき令和元年度の取組結果の概要を報告します。なお、取組結果の詳細は、環境計画年次報告書にまとめ、今後公表する予定です。

環境方針	施策の方向性	取組事項	計画期間(平成29(2017)年度から平成33(2021)年度)の目標等	令和元(2019)年度	
				目標等	取組結果
I 地球温暖化対策の推進	省エネルギー及び温室効果ガスの削減	1 省エネルギー型機器の採用	上下水道施設・設備の更新などにあわせて、高効率型の設備を導入	同左	継続実施
		2 自然流下方式による取水・送水・配水	自然流下を基本とした水道施設の整備を推進	同左	継続実施
		3 下水汚泥の二段燃焼による温室効果ガスの削減	入江崎総合スラッジセンター焼却設備の二段燃焼化を進めN ₂ Oを削減	同左	二段燃焼化した入江崎総合スラッジセンター3系汚泥焼却炉の運用開始
	再生可能エネルギー源の有効利用	4 小水力発電の実施	既存設備4基(江ヶ崎・鷺沼・平間・入江崎発電所)で小水力発電を実施し、入江崎については、西系再構築施設の工事完成後の水量増加に伴い、発電量を増やしさらにCO ₂ を削減	既存設備4基(江ヶ崎・鷺沼・平間・入江崎発電所)による発電の継続 小水力発電売電量： 1,930,000kWh/年	継続実施 小水力発電売電量： 1,711,440kWh/年
		5 太陽光発電システムの導入	施設更新等に合わせ太陽光発電システムを導入し、CO ₂ を削減	【長沢】継続実施 【生田】継続実施 売電量：1,069,000kWh/年 【入江崎】継続実施	【長沢】継続実施 【生田】継続実施 売電量：1,185,395kWh/年 【入江崎】継続実施
	ヒートアイランド現象の緩和	6 施設における植栽の保全と緑化整備	上下水道施設の敷地内において適切な植樹管理を行うことで施設の景観の向上を図るとともに、ヒートアイランド現象を緩和	同左	継続実施
II 資源・エネルギーの循環促進	廃棄物の抑制・リサイクル	1 浄水発生土の有効利用	浄水発生土の有効利用率100%を継続	同左	有効利用率：100%
		2 下水汚泥の有効利用	東日本大震災以降、放射性物質の検出に伴い中断している焼却灰の有効利用の安全性などについて検討を推進	焼却灰の有効利用を継続実施	継続実施
		3 建設副産物のリサイクルの推進	上下水道工事に伴い発生する建設副産物を再資源化し、工事資材に積極的に活用するなど、循環型社会の構築に向けた施策を継続	同左	継続実施
	資源・エネルギーの有効利用	4 汚泥焼却熱を利用した温水プール	汚泥焼却工程から発生する余熱を入江崎余熱利用プール等で有効利用	同左	継続実施
		5 高度処理水の有効利用	高度処理水を川崎ゼロ・エミッション工業団地やせせらぎ水路などに引き続き提供	同左	継続実施

環境方針	施策の方向性	取組事項	計画期間（平成29(2017)年度から平成33(2021)年度）の目標等	令和元(2019)年度	
				目標等	取組結果
Ⅲ 健全な水循環・水環境の創出	水資源の確保・有効利用	1 水源地の水質確保	水源地における湖底土砂の浚せつなどを実施し、水源水質を保全	同左	継続実施
		2 安全な飲料水の確保	水源から給水栓までの水質検査を実施し、安全な飲料水を確保	同左	継続実施
		3 水資源の有効利用の推進	老朽給配水管の計画的な更新や漏水調査を実施し、水資源の有効利用を推進 老朽給水管更新目標達成率：100%（令和元(2019)年度）	同左	継続実施 老朽給水管更新目標達成率：97.9%
	良好な水環境の創出	4 下水道未普及地域の解消及び水洗化の促進	下水道未普及地域の解消及び水洗化を促進	同左	継続実施 下水道普及率：99.5% 水洗化率：99.6%
		5 事業場指導及び水処理センターの適切な水質管理	事業場排水の調査・指導・啓発の実施と、水処理センターの良質で安定した放流水質の維持	同左	継続実施
		6 高度処理の推進	東京湾流域別下水道整備総合計画に基づき、高度処理事業を推進	同左 高度処理普及率：34.5%	継続実施 高度処理普及率：34.5%
		7 合流式下水道の継続的な改善	合流式下水道緊急改善計画に基づき、継続的な改善を推進	同左 改善率：73.5%	継続実施 改善率：73.5%
Ⅳ 環境に配慮した行動の促進	事業活動における適正な環境管理	1 市役所の率先した環境配慮の取組	空調の適正管理、グリーン購入の促進、低燃費車の導入などを実施	低燃費車導入率：89.4% その他の取組：継続実施	低燃費車導入率：85.6% その他の取組：継続実施
		2 省エネ法に基づくエネルギー管理の取組	省エネ法に基づき、中長期における年平均1%以上のエネルギー原単位を低減	年平均1%以上低減	1.1%低減
		3 温対法及び温対条例に基づく温室効果ガス削減の取組	事業活動地球温暖化対策計画に基づき、令和3年度までに排出量を基準年度比で6.3%削減	同左	継続実施 排出量：0.3%増（基準年度比）
		4 環境マネジメントシステムの取組	長沢浄水場において環境負荷の低減に努め、持続可能な循環型社会の形成に貢献	電気使用量：423,049kWh 用紙の削減：1%削減（基準年度比） 廃棄物リサイクル：継続実施 グリーン購入率：100%	電気使用量 415,715kWh/年 用紙の削減：約10%削減（基準年度比） 廃棄物リサイクル：継続実施 グリーン購入率：100%
	環境技術の研究開発及び活用	5 下水道における環境技術などの研究開発	省エネルギー化及び温室効果ガス排出量の削減対策を推進	汚泥焼却工程における温室効果ガス排出量削減に関する技術開発、段階的の高度処理導入に関する研究	継続実施
		6 水環境技術を活かした国際展開の推進	かわさき水ビジネスネットワークを通じた国際貢献と水環境技術の情報発信、専門家の派遣、研修生の受入などを実施	同左	継続実施
	環境意識の向上に向けた取組の推進	7 環境計画年次報告書の公表	上下水道局環境計画に基づく取組を、毎年度、環境計画年次報告書で公表	同左	継続実施
		8 職員の環境意識の向上	局研修における環境関係の講義の実施と環境関連講習会や研修などへの派遣	同左	継続実施
		9 市民の環境学習の推進と広報活動の充実	施設見学の受入、各種イベントやウェブサイトでの情報発信などを実施	同左	継続実施